

第 27 回青梅市公共交通協議会議事要旨

日 時 平成 30 年 8 月 6 日（月）午後 3 時 00 分から午後 4 時 20 分まで

会 場 青梅市役所議会棟大会議室

出席委員 16 名

高橋会長、轟座長、伊藤(英)委員、橋本委員、和田委員<代理>、中村委員、
竹島委員<代理>、秋山委員、原委員、中西委員、福泉委員、松本委員<代理>、
伊藤(良)委員、尾澤委員、市川委員、山崎委員

傍聴者数 1 名

配付資料 資料 1 平成 29 年度決算報告について

資料 2 基本計画推進状況について

資料 3 今年度の取り組みについて

青梅市公共交通ガイド

駒ヶ根市公共交通ガイドブック

草加市公共交通利用ガイド

議 事

1 開会

2 自己紹介

3 報告事項

(1) 第 26 回青梅市公共交通会議（書面協議）について

○ 事務局

（資料 1 平成 29 年度決算報告について説明。）

○ 座長

こちらに関しては、ご理解いただいているということで、以上とさせていただきます。

4 協議事項

(1) 基本計画推進状況について

○ 事務局

（資料 2 基本計画推進状況について説明。）

○ 座長

それでは、皆様からご質問、ご意見をいただきたいと思いますがいかがでしょうか。

観光 MM で、配布しているチラシの状況、反響をお聞かせください。

○ 事務局

先日、杉並区のイベントと連動して、職員が手配りさせていただきました。特段、配布後の直接の反響はないのですが、杉並区では 300 部を配布したという状況です。併せて、立川駅や都庁にも 100 部ずつ配布済みです。反響はこれから見たいというところです。

○ 座長

問い合わせなどがあればよいと思ったのですが、積極的に進めていただければと思います。

○ 会長

主要駅での配布予定はどうでしょうか。

○ 事務局

青梅線の主要駅については、今後 JR さんと調整させていただきたいと思います。立川駅では、エキキュートに配置させていただいております。青梅駅では、隣の観光案内所に配置済みですので、それ以外の場所で効果がありそうなところをピックアップして、配布場所を調整させていただければと思います。

○ 座長

そのほか、いかがでしょうか。

サイクル&バスライドですが、21 ページで結果を再度まとめて、今後の展開について書かれていますが、特に希望があるのが今井市民センターでしょうか。19 ページに意見がありますが、今井 1 丁目はどこにあるのでしょうか。これをみると、色々なところにあった方が良いと思いますし、併せて、自転車の走りやすさ、道路の状況も関連してくると思いますし、バス停の近くに用地を確保できるかという問題もありますが、今後の展開の可能性について、お聞かせいただければと思います。

○ 事務局

現在、原今井をサイクル&バスライドの実証実験を行う最初の場所ということで設定しております。当初、七日市場交差点付近や近隣の今井市民センターで設置の検討をしたのですが、調整の結果、原今井になりました。今、実証実験のアンケート結果がまとまっておりますけれども、現状の利用率が低い状況を踏まえ、今後の新しい設置場所については、必要性を検証したうえで、市内全域をみて、効果的に使ってもらえそうなところを検討したいと思っております。

○ 座長

市内全域で考えているということで、ぜひご検討お願いします。自転車の利用者からすると、大きなものより小さなものがいくつかあった方がよいという感じかと、意見を見て思いました。

○ 会長

観光 MM のチラシを配布して、実際にバスの乗客が増えている傾向はあるのでしょうか。

○ 委員

今のところ、乗客が増えているといった情報はないのですが、関係部署にも確認して、今後そういった情報がありましたら、情報提供させていただきます。

○ 座長

どの方がチラシを見て来たのかわからないということもあるかと思いますが、どうしたら効果的に MM ができるかを評価として確認していきたいので、わかればお願いいたします。

○ 委員

サイクル&バスライドで、19 ページの最後の意見ですが、こういった方は積極的に利用して下さるのではないかと、ロコミでも広めてくれる可能性があるのではないかとと思われるのですが、実証実験結果の報告はどのような形でするのですか。

○ 事務局

サイクル&バスライドの今回のアンケート結果は、本日の協議会資料という形で市の HP に掲載する予定となっております。

○ 座長

ご指摘のとおり、アンケート結果に関心を持っていただけると、協力してもらえらる可能性があるので、ぜひ公表をお願いします。

○ 会長

13 ページで、9 名が利用したことがあるとのこと、駅に出られる方であれば通勤通学利用、または買い物利用なのかと思いますが、毎日どの程度の方が利用されているのか状況を教えてください。

○ 事務局

毎日、昼間に定時で利用状況を確認しております。多い日で 3 台、全く利用がない日も多いです。詳細な利用状況については、アンケートや日々の確認等では見えてきていませんが、現状の利用は少ないと認識しております。

改善策として、特に PR などにこれから力を入れていく中で、利用状況がどうなっていくかをもう少し見ていき、サイクル&バスライドの効果、場所の選定や有用性も含めて判断していきたい、もうしばらく実証実験を続けていきたいと考えております。

○ 座長

19 ページに路線バスの利用頻度がありますが、毎日使っている方は少なく、月に数回以下の方が多ということから見ると、あまり利用頻度は高くないのではないかという感じがします。ただ、この中で毎日使っている方が高校生などの若い人なら、もしかしたら使われているかとも思いますので、そのあたりも詳しくわかるのであれば調べていただきたいと思います。

また、河辺下に関連して、似たような地区があるということで周辺の市の状況を調べていただいているのですが、他にも全国的に色々ありますので、ウェブ等に載っている情報で構わないので、幅広く調べていただき、河辺下地区にあったものを選んで検討していくのかと思いますので、併せてお願いします。

引き続き、観光 MM、サイクル&バスライドの今後の展開、公共交通空白地域のための研究を続けていただきたいと思います。

それでは、協議事項（2）に移ります。今年度の取り組みについてです。

(2) 今年度の取り組みについて

○ 事務局

(資料 3 今年度の取り組みについて説明。)

○ 座長

それでは、ご質問、ご意見のある方、うかがいたいと思います。まずは 1 の広報紙から、ご意見いかがでしょうか。

○ 委員

ここに書いている危機的な状況や利用者の減少によって悪循環であるということは、確かに今そうだと思いますが、こういう風な形で書かれることで、そうだ、乗りましょうという思いになるのかどうか。例えば、公共交通を利用したくなるようなアイデアが盛り込まれると、風向きが変わるのではないかという感じを持つのです。サイクル&バスライドでもそうなのですけれど、バスの運行本数が増えたら利用してもいいよとか、バスの始発終発が拡大

したら利用していいよとか、現実とはそぐわないけれど、言葉を悪く言えば、そうなったら利用してやってもいいよという感じに聞こえてしまうのですよね。今の状況はこうだよと言われれば、そうなのですけど、もっと別の発想で何かできないものなのか。電車でも赤字路線がいくらでもありますよね。でもかなり色々なアイデアを盛り込んで、そこら辺をひっくり返しているケースはいくらでもあるのですから、そういうことができないものなのか。車を持っている家庭が多くて、青梅市内はわりと便が悪かったりするのです、車で行った方がよいという傾向になると思うのです。そうじゃなくてやっぱりバスも良いよ、バスに乗ってみようかな、というアイデアをどれだけ提案できるかということかなという気がします。

○ 座長

おっしゃる通りだと思います。そういうものを加えていくというのは可能ですか。

○ 事務局

暗い話ばかりではなく、乗ってみたいと思うような明るい話を先に入れていくようにしたいと思います。

ごもっともだと思うのですが、現状をお伝えする中で、市民の皆さんが、自分は車を運転できるからバスに乗らなくて大丈夫だということだけではなくて、将来的なインフラとして必要だという発想の中で、乗らないとなくなってしまうということを目覚めに考えていただいて、なるべく利用していくというのが、まさにMMというところでして、今回ネガティブな情報を出しているというのは、今の本当に危機的な状況を知ってもらった上で、自分が困っていないからいいということではなくて、車でも行けるけどバスを使う、3回に1回でもバスを利用していくという発想を育てていきたいということです。今までは、どちらかという、乗りましょうというような表現でやってきたという中で、今回は危機的なところを出した、トライした考え方であると捉えております。

○ 座長

ぜひ工夫をしていただければと思います。最後の公共交通の利用機会を見つけましょうというところを、もう少しバスに乗りましょうという雰囲気ですとか、せっかく観光MMのハイキングの話もありますから、それと結び付けてHPとリンクするような工夫等があればと思います。乗りましょうということから訴えかけるようなものを加えて趣向を変えたということだと思いますけど、やはり工夫をいただければと思います。

イラストだったり、強調すべきことの文字を太字にしたり、もう少し見出しをつけるなどして、目に飛び込むようにした方がよいのではないかと思います。メリットの健康だとかエコ増進だとかは読まないと思ってこないものですから、イラストや強調文字といった工夫をしていただければと思います。

○ 事務局

本日いただきましたご意見を踏まえて、内容については工夫いたします。

○ 委員

最初のところで、鉄道がJR青梅線とありますが、御岳登山鉄道は入れなくてよいのかということと、青梅駅以西の利用者数が減少を続けとあるのですが、東青梅駅や河辺駅は利用者数が増えているのかを教えてくださいたいと思います。

○ 委員

残念なことに、直近の昨年のデータでは青梅駅と河辺駅も利用者数は減少しています。河辺駅については、利用者は微増しています。

○ 座長

記述がそこまで厳密に書いていないという気はしますが、そういったことであればしっかりと書いた方がよいかもしれません。ご検討いただければと思います。御岳登山鉄道の追加についてはどうですか。

○ 事務局

御岳登山鉄道は公共交通の1つではあるのですが、かなりエリアが限られているということもありますので、御岳登山鉄道という言葉も入れていくのか、などという表現をしていくのかは検討していきたいと思います。

○ 座長

それでは、MM3件と公共交通ガイドの取り組みについてはいかがでしょうか。

確認ですが、実際に今年度MMをするのは、観光MMだけでしょうか。事業所MMと学校教育MMは、検討して次年度ということよろしいでしょうか。

○ 事務局

観光MMについては、今年度配布をしているので、次の配布に向けて内容をかためて、来年配布というスケジュールで考えております。事業所MMについては、今年度ヒアリング等を行っていき、各事業者に対する働きかけについては来年度以降の予定です。学校MMについても同様に、今年度は内容について教育委員会等と協議していきまして、実際に行っていくのは次年度以降となります。

公共交通ガイドについては、長年同じような形式でやってきているので、内容を大幅リニューアルということで、内容の一部変更ということであれば今年度実施することも可能ですが、冊子等が変わることになれば、予算等を勘案して次年度以降ということも考えられます。

○ 座長

今年度の取り組みに関して、MMの準備や調整等も大変だということはあるのですが、平たく言ってしまうと地味な活動という感じがしてしまいます。

サイクル&バスライドや河辺下の検討というのは、今年度の計画に入っていないのでしょうか。

○ 事務局

サイクル&バスライドについては、実証実験を続けてまいります。PRの方法等考えて提案していきながら、色々トライしていきたいと考えています。空白地域対策については、今後情報収集を継続して行っていきます。

○ 座長

そこら辺のところは書いてありませんけど、引き続き行っていくということですね。

○ 委員

河辺下地区の取り組みというのは、具体的にいつぐらいを目標にというのはお考えでしょうか。

○ 事務局

河辺下地区の取り組みについては、昨年8月に新規路線は白紙にして考え直すという中で、改めてどのような方向がよいのかをこの協議会で検討していくということで、今回、武蔵村山市とあきる野市でヒアリングを行ってきたというところです。例えば、武蔵村山市のむらタクでは費用800万で大体1割くらいの収支率、あきる野市は3往復で1日1.3人、2往復分がほとんど乗っていないという状況の中では、もう少し情報収集をして、どこの状況も厳しいということはあるのかもしれませんが、費用対効果等を検討しながら、実際にどのような形がよいのかということを検討していかないと、実際に導入するのは難しいと考えているところです。

○ 座長

スケジュール感に関しては、まだまだわからないといったところでしょうか。

○ 委員

上成木の時もそうだったと思うのですが、どういう風にしたらよいかというのがうまくかみ合わない中で、最終的には現状維持ということで収まったかと思うのですが、先ほどの広報紙によるMMということで、今の状況を訴えつつ、実際に交通空白地域についてはどういうアクションを起こしていくのかというあたりを一定の期間の中で提案をしていかないと、この地域に住んでいらっしゃる方からしてみると、いつまで経ったら自分たちの足は確保してもらえるのかなという思いがあると思うのですよね。一方で予算との絡みもありましようから、何が何でもと言っているわけではないのですが、一定の目途を検討していただくことも大事かなと思います。

○ 事務局

有効な方法があればということを考えているところです。あきる野市であれば福祉ですが、当協議会は公共交通という立場ですので、実証実験はやってみたくても持続可能な方法は見つからず、成木地区もそうだったのですが、必要だという気持ちは皆さんにあるが、使っていただけない中での費用負担も厳しいところがあります。これはよいというものが各市の状況から見えていないということもありまして、もう少し情報収集を続けたいというのが今の考えです。

○ 座長

スケジュール感を持って、進めた方がよいかと思っております。あくまでも目標ですけど、目標年次等も含めて、いつまで何をするのか、色々なシステムの検討をいつまでにして、さらに成木地区のように地元の人たちを巻き込んでいくというのも重要ですから、それをいつまでにどういう形でやっていくのかという目途を付けていかないといけないと思います。あきる野市の例があがっていますが、基本的には地元の方々の協力の下でやっていますから、もしこういう方式にするのであれば、地元の協力は重要かと思えます。やり方に限らず、地元の人たちが、自分たちでどうにかしなければという思いがなくて、声が上がってこない、この協議会や市の方でシステムを入れても押し付けみたいになり、乗らないということもありますから、MMの一環として地元の人たちをどう巻き込むかは重要かと思えます。

いつまでに何をしていくかということもしっかりと検討していただければと思います。

○ 会長

高齢者クラブの中で、バスの運行などについてどのような話があるかお聞きしたいです。

○ 委員

非常に難しい話だと思います。高齢者にとっての交通過疎は、成木地区だけではなく、町の中でもあります。大体、歩き出して 300m でどこかに座りたいと思うのが高齢者なのです。路線バスのない区間をいくようなコミュニティバスが高齢者向けの対応なのですが、乗り手がないからバスが減って、余計乗らなくなったという悪循環がどうしようもない事実としてありますよね。市なども赤字覚悟で補助しても、うまくいっていないのが現状です。若い人が入ってきませんから、路線バスを使って御岳の方へ出かけたり、あるいはどこか観光地へ行きはバスで帰りは歩いていたりという催しをしたら、少しは良いのかなと考えたのですが、路線バスがどこに行っているのか、どこに何があるのかをまだ知らないものが多いですよ。それから、高水山へは路線バスを利用して、成木の方面へ行ってもらおうということなのですが、登山も高齢者は大変ですから、バス停周辺に他に何か面白いものがないのかなということも考えてみたりして、どうしたものかと悩んでおります。

ただ、高齢者は時間があります。バス代ぐらいあると思いますから、閉じこもらずにバスを利用してどこかへ行ってもらおうという PR ができると思います。どの路線バスに乗って、どこへ行けばよいかという、もう少しガイドがあると良いのかなと思っております。

○ 会長

河辺下にお住いの委員の方にうかがいたいのですが、河辺下についてお考えがありましたらお聞かせください。

○ 委員

以前、西東京バスが検討されて、狭い場所が 2 か所あるという理由で却下されたと思うのですが、ジャンボタクシーのような小さい 10 人乗り位のバスを走らせた方が良いのではないかと考えていました。河辺町商業会でも検討して、市の方へ申請して却下されたのですが、白ナンバーだと 100 円でも料金を取れば違反になりますし、無料にすると陸運局の問題が出てきますから、私どもが勉強不足ということもあって、そういう形になりました。

どうしても高齢者の方は、息子さんに迎えに来てもらうというような状況が多いのです。エスカレータでもよいとか考えたことがありますが、もっとお金がかかりますから。東の方から入って病院の上まで行く道と、千ヶ瀬へ抜ける道があるのですが、千ヶ瀬も狭いところがあって、河辺のグラウンドに入るところも狭いということで、バスとなると難しいと思っております。今後、市でも検討していただければと思っております。

○ 座長

本当に貴重なご意見だと思いますので、そういったことを解決していくため色々な議論をしていくべきかと思っております。

そのほか、いかがでしょうか。それでは、協議事項を終了といたします。

公共交通の悪循環を止めるために、何らかの手を打っていかねばいけないと思っております。MM だけでは無理かなと思います。抜本的なものはなかなかできないのですが、全国で色々な施策を試していますから、そういったものを少しずつでも試すようなことを検討いただきたいと思います。危機感をおおるだけでは難しいと思っております。公共交通の悪循環を止めるためにホームランはない、こまめにバントヒットを積み重ねていくしかないと思っております。そういったものを積極的に取り入れていくことが、悪循環を止める

ことにつながるとお思いますので、ご検討いただきたいとお思います。

それでは、以上で協議事項を終わります。

○ 会長

グリーン車が走るという記事がありまして、明るい話題ではないかと思うのですが、その辺りについて、わかりましたらお願いいたします。

○ 委員

グリーン車導入については、一度以前にプレスしましたが、サービス開始時期の見直しということでストップしていたのですけれど、直近でプレスした中で、2023年度末を目標に整備を進めますということでプレスをしています。HPを見ていただければ、どなたでも中身がわかるような形になっています。

2018年4月3日のプレスで、2023年度末のサービス開始に向け、工事を着手しますとありますので、これを目標に着工していきます。

○ 会長

内容については、車両が2階建てだとか、そんな感じなのでしょうか。

○ 委員

快速の電車の中にグリーン車が入るということで、プレスにはグリーン車のイメージでは2階建ての車両のものを載せてあります。おそらく、そのような形になるかとお思います。

○ 会長

時間についてはどうですか。

○ 委員

時間まではわかりませんが、そんなに変わらないとお思います。着座サービスということで料金は発生します。

○ 座長

今のように明るい話題も重要だとお思います。

そのほか、ご報告や提案がありましたら、おうかがいします。

それでは、本日の協議は終了いたします。熱心なご協議ありがとうございました。会長に進行をお返しします。

○ 会長

(総括)

5 閉会